

2020年5月13日

一般社団法人

ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会

理事長 在間 稔允

## 緊急事態宣言延長の中で UCDA が支援できること

5月6日までの緊急事態宣言が5月末まで延長されました。発出から1か月あまりの間、多くの生活者が、生命・財産に関わる情報の「正しさ」「わかりやすさ」の必要性を強く感じたことだと思います。緊急性がある情報なのに、ホームページやパンフレットを見てもわかりにくい。すぐにでも手続きをしたいのに申請書が複雑でわかりにくい。今こそ企業・行政は、生活者が感じている負担を軽減しなくてははいけません。

UCDAは「情報品質」の向上に向けて、以下の活動を行っています。

- ・第三者の客観的な評価による UCDA 認証
- ・「わかりやすさ」の基準を学ぶ資格認定制度
- ・優れたコミュニケーションデザインを評価・表彰する UCDA アワード

そこで、第三者機関として緊急事態の中で皆様の「情報品質」向上への支援策を5点企画し、早急にご提案できるよう、準備を進めています。

- ・重要な情報を見やすく、わかりやすく、伝わりやすく改善するための「DC9 ヒューリスティック評価」
- ・パンフレットや申請書の文章をわかりやすくする「文章改善」
- ・Web ページで情報をわかりやすく伝えるための「Web ページ評価」
- ・生活者と企業をコミュニケーションで繋ぐ「みんなのカレンダープロジェクト」
- ・企業と一緒に学生を支援する「UCDA 学生支援プロジェクト」など

いずれも今までの研究と、専門家と生活者の重層的な議論によって培われた UCDA の知見を活かしたものです。ご質問、お問い合わせいただきましたらご説明に伺いたいと思います。ぜひ事務局までお問い合わせください。

新型コロナウイルスの混乱が終息した後、社会がどのように変わるのか誰にもわかりませんが、「情報品質」の大切さは変わらないと思います。UCDA はこれからも人と人のコミュニケーションを大切にして、「情報品質」の向上に取り組む企業・行政を支援してまいります。

〈 本件に関するお問い合わせ先 〉

一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会 事務局

E-mail : jimukyoku@ucda.jp